

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2022年度：2023年4月～2023年6月】



田島電気株式会社



《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・実施体制	P-4・5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-6・7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P-8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-8

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

田島電気株式会社
代表取締役 田島 敏靖

2. 所在地

〒376-0014 群馬県桐生市広沢町間ノ島70番地

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 田島 敏靖
環境管理責任者 : 管理部 松島 哲也
担当 : E A 2 1 事務局 横堀 直也
TEL : 0277-52-8011
FAX : 0277-52-8013

4. 事業の内容

電気工事業 電気通信工事業

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年度	2022年度
売上高	百万円	764	575
従業員数	人	30	29
延べ床面積	m ²	945	945

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

田島電気株式会社 全組織及び全活動

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境の未来を考慮に入れ
確かな知識と技術力で提案・施工し
環境負荷の低減に継続的に取り組みつつ
地域の皆さまの明るい毎日を支えられるよう努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ継続的に取り組みます。

1. 事業活動のあらゆる領域で環境負荷低減に取り組みます。
2. 再生可能エネルギーの拡大・普及を推進します。
3. 省エネ商品の積極提案・採用を推進します。
4. 人材育成を推進し、より活躍出来る環境を整備します。
5. 電気工事業を通じて、地域社会への奉仕・還元に努めます。
6. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
7. 環境経営の活動に積極的に取り組み、継続的改善に努めます。
8. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2023年 4月 1日

田島電気株式会社

代表取締役 田島 敏靖

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）				環境経営計画(環境経営レポート対象期間)
	項目	基準年 (実績)	2022年度 目標	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2021年度 (119.12)	2021年度に対して1% 減	①照明・PC電源不要時のOFFの推進
				②エアコン清掃の実施
				③エコドライブ推進
				④社用車の点検・整備
				⑤電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削 減	2021年度 (1.26)	2021年度に対して1% 減	①分別ルールの徹底
				②廃棄物置場の整備
				③廃棄物排出量の集計
3	売り上げ 100万円当 たりの水使 用量の削 減	2021年度 (0.58)	2021年度に対して1% 減	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
				②節水表示
				③トイレの節水
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商品の調査	①取扱商品(化学物質含有)の調査
				②購入量の把握
				③SDSの入手
				④取扱商品一覧表の作成
				⑤管理手順の策定(化学物質含有の場合)
5	本業に関 する目標	①LED照明の推奨		
		②太陽光発電システムの普及		

*購入電力の排出係数は、0.441kg-CO₂/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節水表示



節電表示

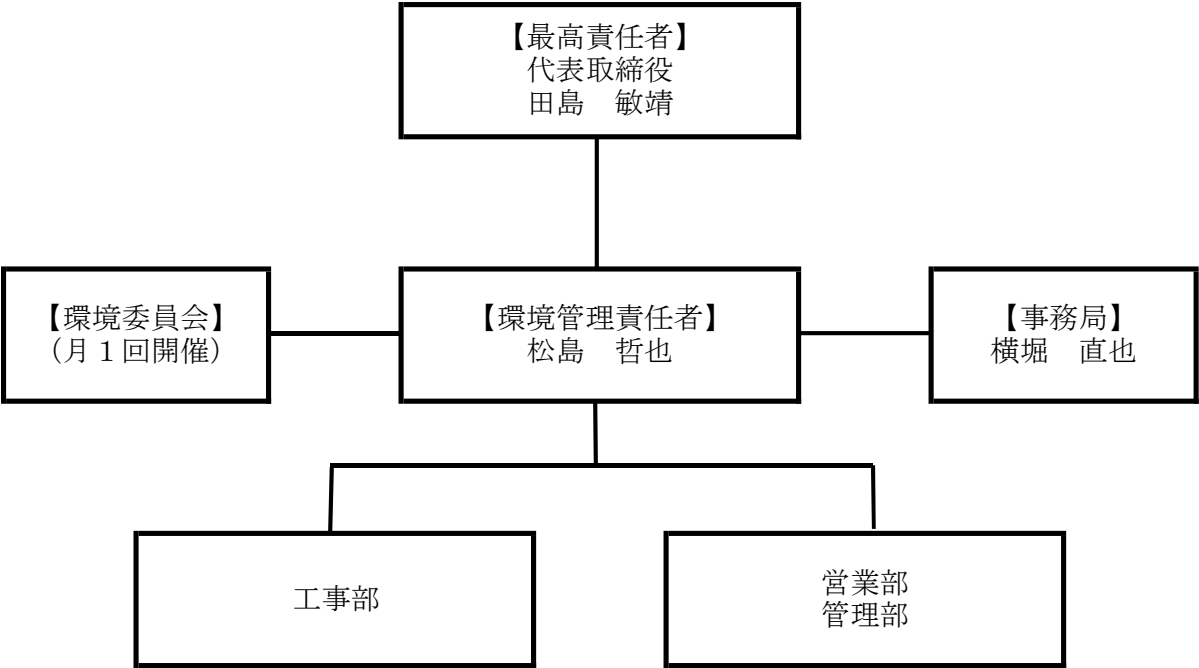


環境に配慮した取組等

避難訓練



エコアクション21取組の実施体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 田島 敏靖】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・目標・計画等、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤当社における課題とチャンスを明確化する
環境管理責任者	【松島 哲也】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【横堀 直也】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）							環境経営計画（環境経営レポート対象期間）	
	項目	基準年 （実績）	2022年度 目標	2022年度 目標値	2022年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素排出量 の削減	2021年 度 (119.12)	2021年 度に対し て1%減	117.92	163.22	未達成	①照明・PC電源不要時のOFFの推進	○
							②エアコン清掃の実施	△
							③エコドライブ推進	△
							④社用車の点検・整備	○
							⑤電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り廃棄物 排出量の削 減	2021年 度 (1.26)	2021年 度に対し て1%減	1.25	1.76	未達成	①分別ルールの徹底	△
							②廃棄物置場の整備	△
							③廃棄物排出量の集計	○
3	売り上げ 100万円 当たりの 水使用量 の削減	2021年 度 (0.58)	2021年 度に対し て1%減	0.57	0.53	達成	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	◎
							②節水表示	◎
							③トイレの節水	○
4	化学物質 取扱及び管 理の徹底	—	取扱商 品の調 査	—	取扱が 無い事を 確認した	—	①取扱商品（化学物質含有）の調査	◎
							②購入量の把握（取扱商品有の場合）	—
							③SDSの入手（取扱商品有の場合）	—
							④取扱商品一覧表の作成（取扱商品有の場合）	—
							⑤管理手順の策定（化学物質含有の場合）	—
5	本業に 関する 目標	①LED照明の推奨						○
		②太陽光発電システムの普及						○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2021年度 （基準年1年分）	2022年度 （2023年4月～ 2023年6月）
①二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）	127054.92	23464.04
②廃棄物排出量（kg）	983.63	250.4
③水資源投入量（m ³ ）	438	76

7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標(環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)
	項目	基準年 (実績)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2021年度 (119.12)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 2%減	2021年度 に対して 3%減	①照明・PC電源不要時のOFFの推進 ②エアコン清掃の実施 ③エコドライブ推進 ④社用車の点検・整備 ⑤電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削 減	2021年度 (1.26)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 2%減	2021年度 に対して 3%減	①分別ルール of 徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計
3	売り上げ 100万当た りの水使用 量の削減	2021年度 (0.58)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 2%減	2021年度 に対して 3%減	①毎月のメータを確認する(漏水防止) ②節水表示 ③トイレの節水
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査	①取扱商品(化学物質含有)の調査 ②購入量の把握(取扱商品有の場合) ③SDSの入手(取扱商品有の場合) ④取扱商品一覧表の作成(取扱商品有の場合) ⑤管理手順の策定(化学物質含有の場合)
5	本業に関 する目標	①LED照明の推奨 ②太陽光発電システムの普及				

次年度の環境経営目標、環境経営計画及び実施体制について

エコアクション21運用を始めて間もないため、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画、実施体制も前年度と同じ計画で進める。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵法
道路交通法、道路法	積載基準の遵守	遵法
家電リサイクル法	小売店へ料金を支払い引き渡す 又は自治体指定の方法で引き取り依頼する	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、 マニフェスト交付・保存、水銀 使用製品廃棄物の適正保管及び 処分 保管場所看板の設置	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

当社に該当する環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

今後、ますます進むであろう資源の枯渇とそれに伴う費用の高騰を鑑み、エコアクション21に参画する事に致しました。
キックオフから三ヶ月ということで、まだ何かを見直す程のデータは無いが、会社のエネルギー使用量の大半を占める軽油とガソリンの使用率については特に注意を払って下さい。
今後は実績データの累積と共に、SDG'sの取り組みと併せて推移を見守り、その後適正な見直しを行い少しでも社会に貢献出来るよう会社一丸となって努めて参ります。